



シゲモリ翁とゆく
ニッポン
「～の隣」散歩

● 5 ●

芸術の杜 上野「～の隣」

鶯谷・根岸界隈の未来はフランス人街？

今月のゲスト 大澤祥二さん



鶯谷にはチョーふくよかな女性が多い？

谷、近いですねえ。
大 言っておきますが、私、鶯谷まったく知りませんよ。駅に降りたのも初めてなんじゃないかな。
翁 えっ！ そうなの。大澤親分ともあろうお方が、鶯谷知らないの？ マズイなあ。
大 前から言っているじゃないですかあ。私が、そこそこ詳しいのは東京なら城南地区、そして大阪、博多、熊本、パリ！
翁 パリに詳しいんだから、鶯谷なんて、なんてことないでしょ。そういえば、連れて行ってもらったブルターニュにだって、フランス人の知人、たくさんいたじゃないですか！ それからくらべりゃ、ここなんか

散歩翁・坂崎重盛が月替わりのゲストを迎え、人気スポット「～の隣」にある街を巡り歩く『ニッポン「～の隣」散歩』。五回目の今回は、令和の魯山人（重盛翁と大澤祥二さんと鶯谷（&根岸）を徘徊しました。芸術の杜と下町の代表格である上野の隣町で何を見たのか――？

栄養、栄華の町

土曜日の夕方四時半、銀座から山手線鶯谷駅到着。大澤（以下、大） 大根の花の見上げる墓場かな。

シゲモリ翁（以下、翁） え？

― ああ、ここ（鶯谷駅）の情景ですね。ホームから見える土手に紫の大根の花が咲いていて、その上に寛永寺の墓が見えて。

翁 ふうん。ちよつと上手いな。

大 なんか、スイマセン。

翁 寛永寺は、徳川将軍家のお墓もあるんですよ。今日みたいに銀座の画廊に寄って有楽町から乗ると鶯

たかが上野の、隣りですよ。

― メチャクチャですね。町変えますか？

翁 いやいや、せっかく来たんだから。それにボク、鶯谷、かつてのホームグラウンドだから。昔から通いつめて知ってる町だから大舟に乗ったつもりでいて。まずは一発目。鶯谷は、なぜか栄養の行きわたった体つまりブーデの女の人が多い！

― ヒドい分析ですね。載せられませんよ、そんな発言。

翁 そう発言はしたけど、そこを加工するのが編集者でしょ。言い直す、チョーふくよかな女性をよく目にする町なんです。ほほ、同じか（汗）。

大 何かワケがあるんですか？

翁 知りません。ただこの一帯、都内有数の風俗的ホテル街ですから、そこらへんどのカンケーがあるのかも。ないか……。

― 通いつめたって、そういうところですか？

翁 キミねえ、ワタシを誰だと思ってるんですか！ ほんの数十分前に、銀座の画廊で文人画展やってたの見たでしょ？ 半藤（二利）さんや、嵐山さん、池内さんの作品。そのメンバーですよ。